

| 科目名称 (Course Title) | | | | 担当教員(Instructor) | |
|---|-------------------------------------|-----------------------|----------------------|---------------------------------|--------------------------|
| 医療管理論 II | | | | 星 雅文 | |
| 開講学期 (Semester) | 単位数 (Credits) | 履修年次 (Requirement) | 授業形態 (Class Type) | 受講定員の有無 (Maximum Enrollment) | 授業公開 (Workshop Class) |
| 後学期 | 2単位 | 2年次 | 講義 | 無 | 無 |
| 授業の概要 (Course Description) | | | | | |
| <p>本講では、まず医療管理論 I 後半の内容を継続して病院における各部門の役割を学ぶ。病院の事務職として最も重要なのは、各部門が患者の診療において如何なる役割を担い、業務を行うかを理解することである。医療専門職は概ね他部門に対する知識がなく、セクショナリズムに陥ることも多い。そこで、部門間の調整を行い専門職の連携を深める場を設けるのが事務職の大きな務めである。そのために、診療に関わる各部門、および物品・衛生・施設管理などについて、事務職は十分な知識を持つ必要がある。</p> <p>その上で、次に医療安全やリスクマネジメントの手法について学ぶ。これらの取り組みは、医療機関内の多職種が連携するチームによるQC (Quality Control) 活動である。病院事務職が部門を繋ぐ役割を担う者として重要なのは、この点においてである。</p> <p>本講で学ぶ内容は診療情報管理士を目指した勉学の中で最も重要な領域である。</p> | | | | | |
| 授業の到達目標 (Course Objectives) | | | | | |
| <ol style="list-style-type: none"> 1) 医療機関における中央診療各部門の役割や果たす機能について説明することができる。 2) 医療機関における医療の中心たる医師、看護師の役割とその職務について説明することができる。 3) 医療機関における事務部門の担う役割や機能について説明することができる。 4) 医療安全・リスクマネジメントの取り組みについて理解し、問題点を指摘できる。 | | | | | |
| 授業計画 (Course Schedule) | | | | | |
| 第 1 回 | 病院における中央診療部門の業務と役割 <薬剤部> | | | | 第2章 |
| 第 2 回 | 病院における中央診療部門の業務と役割 <臨床検査部・放射線部> | | | | |
| 第 3 回 | 病院における中央診療部門の業務と役割 <リハビリテーション部・栄養部> | | | | |
| 第 4 回 | 病院における中央診療部門の業務と役割 <医師部門> | | | | |
| 第 5 回 | 病院における中央診療部門の業務と役割 <看護部門> | | | | |
| 第 6 回 | 病院における教育研究部門と事務部門の業務と役割 | | | | |
| 第 7 回 | 病院における施設管理、調達、および環境衛生部門の業務と役割 | | | | |
| 第 8 回 | 医療機関における財務部門、経営管理指標 | | | | |
| 第 9 回 | 医療における安全管理と危機管理 (セーフティマネジメント) | | | | |
| 第 10 回 | 医療における安全管理と危機管理 (リスクマネジメント) | | | | |
| 第 11 回 | 医療の質とは何か (クオリティマネジメントについて) | | | | |
| 第 12 回 | 医療の質とは何か (病院機能評価、ISOなど第三者評価について) | | | | |
| 第 13 回 | わが国の医療保険制度と診療情報管理 | | | | 第3章 |
| 第 14 回 | 保険診療と医療費 (診療報酬) 支払いの仕組み | | | | |
| 第 15 回 | 診療報酬明細書 (レセプト) について | | | | |
| 授業時間外学習 (Supplementary Activities) | | | | | |
| <p>1年次後期に学んだ「医療管理論 I」の内容を教科書で復習してほしい。そして、講義において触れた箇所のノートと教科書の該当ページを一読すること。医療管理論 I から引き続き現れる医療の専門用語に早く慣れるためにも教科書を存分に活用する (マーカー、書き込みなどで大いに汚す) こと。</p> | | | | | |

| 成績評価の方法と基準(Grading) | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 期末試験 (70%) ・ 中間テスト (30%) | <p>秀 : 医療機関における各部門の役割や機能、および医療におけるクオリティマネジメント活動について<u>説明ができ、かつ、問題点を的確に指摘</u>できている。</p> <p>優 : 医療機関における各部門の役割や機能、および医療におけるクオリティマネジメント活動について<u>説明が</u>できている。</p> <p>良 : 医療機関における各部門の役割や機能、および医療におけるクオリティマネジメント活動についてキーワードを把握し、<u>述べることが</u>できている。</p> <p>可 : 医療機関における各部門の役割や機能、および医療におけるクオリティマネジメント活動のキーワードの理解において最低限の基準を満たしている。</p> |
| <p>テキスト (Textbook)</p> | <p>【書名】 診療情報管理Ⅲ (第2～3章) 【著者】 日本病院会</p> <p>【出版社】 株式会社日本病院共済会 【出版年】 2018年7月版</p> |
| <p>参考書・資料等 (Supplementary Reading)</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 診療情報管理士教育問題集 (専門課程) : (社) 日本病院会 ・ <イラスト図解>病院のしくみ : 日本実業出版社 |
| <p>備考 (Other Information)</p> | <p>医療の専門科目は各回の講義内容が次の講義につながるが多いため、欠席により講義に付いていけなくなる恐れがある。事情によりやむなく欠席した場合は、後日必ず資料などを受け取り、講義出席者と同様の復習を行うなど、積極的に取り組んでいただきたい。</p> |
| <p>教員との連絡方法 (Contact With Instructor)</p> | <p>講義や会議、あるいは出張などにより研究室に不在であることが多いため、火急の際には下記の連絡手段を用いてアポを取ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Email : hoshi-masatake@fukuchiyama.ac.jp ・ 携帯電話 : 090-1616-8855 (ショートメッセージ可) |